



### やる気スイッチオン！！

子どもたちにとって待ちに待った夏休み。でも親にとっては、約40日間も学校がないなんて。今年の夏はどうやって乗り切ろう・・・と思っている方多いのではありませんか？何気なく毎日を過ごし、気がつけばもう8月の終わり！慌てて宿題をやらせ、二学期突入・・・ではもったいないですね。



テレビ番組でよく取り上げられてるスーパーキッズ。大人顔負けの物知りキッズや、プロ並みの実力をもつスポーツキッズ。芸術家としての才能を早くも開花させた芸術家キッズ。我が子もそんな子達のように才能を開花させたい、と願う親は多いと思います。世で注目されているスーパーキッズに育てるには親の努力が欠かせません。新しい経験をさせ、いわゆる子どもの「やる気スイッチ」を押してあげる必要があります。でも、現実問題、時間がない余裕がないそして結局普段どおりの生活を過ごす。というパターンに陥ってしまっている状況。夏休みはそんな問題を解決する絶好の機会です。夏休みは40日間と、長いようですが、あっという間に過ぎてしまう長さ。親にとっても子どもにとっても何かを集中的に成し遂げるためにはちょうどいい期間です。40日間、子どもの将来のため、と思って普段は経験できないような事を是非経験させましょう。

新しい事を経験する事により、子どもは想像を膨らませ、「今日はこれしよう」「明日はあれしよう」と、毎日の生活に「目的」を見つける事ができるようになります。それを最初は親が訓練してあげるといいと思います。お母さん、お父さんと「一緒に」予定を立て実行する事は子ども達にとってモチベーションも上がり大きな財産になることでしょう。ポイントは「ありふれた日常では味わえない事をする」です。非日常的な経験をすると、脳ではドーパミンが分泌され、知能にかかわる神経ネットワークがさらに強化されるという現象が起きています。

夏休みならではの定番の遊び、たとえば、海水浴や山登り、ハイキング、キャンプ、川で魚釣り、花火などなど。でも毎日遠出して、なんて事はなかなか難しいです。もう少し身近で、でも非日常的な事がありますし、子どもだけの行動が楽しくてわくわくする頃です。子どもが楽しめ、安全な範囲で積極的に子ども同士の行事に参加させてみるのもいいと思います。例として、「祖父母の家にお泊り」「競馬場の馬を見に行く」「野球、サッカーなどのスポーツ観戦」「地域の夏休みイベントに参加」「テレビのスタジオ観戦」など、子どもが(親も)わくわくするような事を見つけてどんどん実行していきましょう。様々なことをしていくうちに、子どもはどこかに「はまる」んです。そこがその子のやる気スイッチですね！

